

令和 5 年 3 月 24 日

国土交通省関東地方整備局北首都国道事務所

さいたま市建設局土木部道路環境課

戸田市都市整備部都市交通課

第 1 回生活道路交通安全対策ワークショップを開催しました

～歩行者の安全性確保に向けた生活道路対策の推進～

歩行者の安全性確保に向けた生活道路対策を検討することを目的として、生活道路交通安全対策ワークショップを新たに発足しました。第 1 回ワークショップでは、地域の皆様と一緒に埼玉県さいたま市と戸田市にまたがる「内谷・美女木地区」の合同現地踏査を行い、交通課題や対策素案について討議しました。

1. 日時：令和 5 年 2 月 22 日（水） 12 時 40 分～16 時 00 分
2. 場所：内谷中学校 3F 第 2 会議室
（埼玉県さいたま市南区内谷 6 丁目 10-1）
3. 議題：（1）ワークショップ資料の説明
（2）合同現地踏査
（3）内谷・美女木地区内の課題箇所、課題の内容、対策素案の整理

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、
埼玉県政記者クラブ、さいたま市政記者クラブ、川口記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 北首都国道事務所

電話：048-942-4041（代表） FAX：048-942-8205

・副所長 宇津木 和弘（うつき かずひろ）（内線：205）

・管理課長 横田 昭人（よこた あきと）（内線：431）

さいたま市 建設局 土木部

電話：048-829-1490 FAX：048-829-1988

・道路環境課 課長 小峰 喜樹（こみね よしき）

戸田市 都市整備部

電話：048-441-1800（代表） FAX：048-433-2200

・都市交通課 副主幹 山田 雄佑（やまだ ゆうすけ）（内線：312）

・都市交通課 主任 今井 孝則（いまい たかのり）（内線：329）

第1回生活道路交通安全対策ワークショップを開催しました

1. 第1回生活道路交通安全対策ワークショップ

地域の皆様と関係機関で構成されるワークショップメンバーにて、第1回生活道路交通安全対策ワークショップを実施しました。ワークショップでは、「内谷・美女木地区」内で、歩行者や自転車にとって特に危険性が高いと考えられる箇所を実際に歩いて確認し、課題の内容や分布について討議しました。



2. 内谷・美女木地区の特徴

以下の特徴を有している「内谷・美女木地区」を対策検討エリアとして進めています。

- さいたま市、戸田市の両市に関連する交通が発生
- 地区内で歩行者関与の交通事故が多発
- 抜け道の主要な経路上に小中学校の通学路がある
- ゾーン30プラスの整備エリアが隣接している
- 地区内に自動車の走行速度が高い箇所、ヒヤリハット箇所(急ブレーキ)が複数ある



3. ワークショップの体制

ワークショップのメンバーは、地域の皆様と関係機関(有識者、警察、学校、PTA、国道298号の沿線の市、国土交通省等)で構成されます。

地域の皆様・内谷中学校
沼影小学校・美女木小学校

国道298号
の沿線市

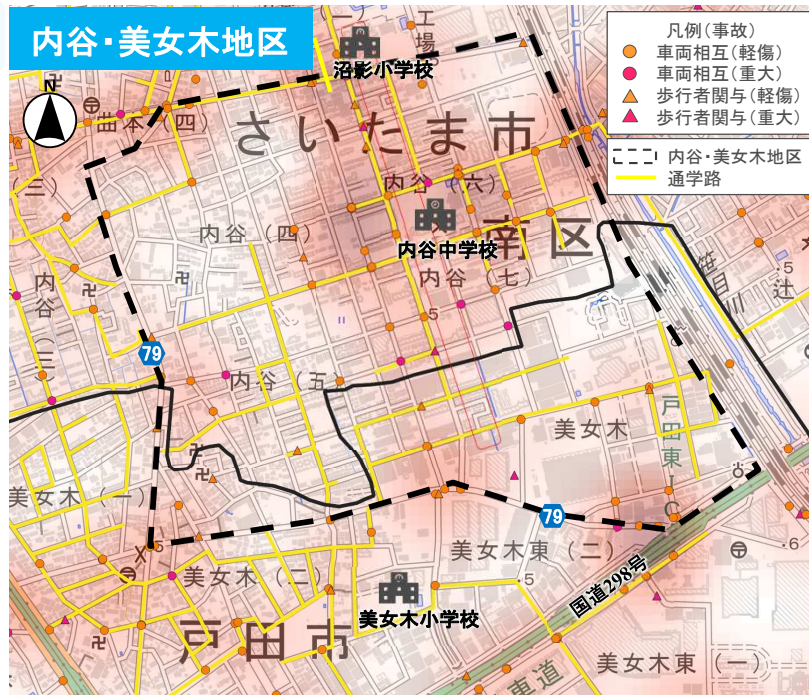
有識者
(埼玉大学)

生活道路交通安全対策
ワークショップ

埼玉県

埼玉県警察

国土交通省



4. 地区内の課題の把握

地区内の課題を実際に目で見て確認するために、合同現地踏査を行いました。合同現地踏査後は、大学生が主体となって各グループの意見をとりまとめ、現地踏査結果を発表し、メンバー全員で抽出した課題・対策案を共有しました。



合同現地踏査



各グループ長(大学生)による発表

内谷・美女木地区の課題(1グループの例)



埼玉大学 久保田教授によるコメント

5. 今後の予定

今後、第1回ワークショップで頂いた意見をもとに、具体的な対策案や実証実験(仮設ハンパや狭さくの設置等)の必要性について検討していきます。引き続き、地域の皆様と討議を交えながら詳細な内容について調整していきます。

物理的デバイスの例

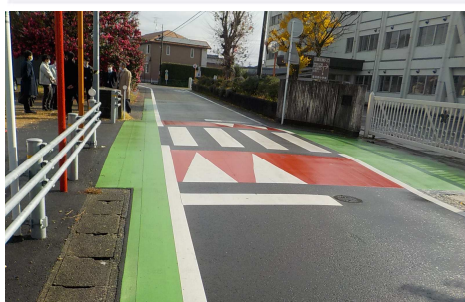
課題を緩和・解決するための対策案

確実な効果が見込める物理的デバイスの導入



ハンパ

路面を滑らかに盛り上げ、30km/h以上の速度で走行する車両の運転者に不快感を与える構造物



スムーズ横断歩道

車両の運転者に減速と横断歩行者優先の遵守を促す、ハンパと横断歩道を組み合わせた構造物



狭さく

車道の通行部分を局所的に狭くし、車両の速度を抑制する構造物



ライジングボラード

ポールを昇降させ、交通規制が実施されている時間帯等の車両の進入を抑制する構造物

内谷・美女木地区の課題

合意形成の円滑化に向けた実証実験の必要性